

## 公開保育 評価

【公開保育実施日】全7回（令和4年3月31日現在）

4月15日(木)、5月7日(金)、6月10日(木)、8月20日(金)、  
10月15日(金)、12月17日(金)、2月7日(月)

【評価者】 相馬 靖明先生

【参加者】 園長、副園長、各クラス担任

### 【内容】

0歳児～5歳児までの保育を見て、「保育の内容」・「保育環境」・「園児の様子」・「保育者の姿勢」等の評価する。開園して約2年弱となるが、これまでに改善・成長できた点や、改善点等々を評価する。

<評価の観点>

「保育所保育指針」、「幼児期にふさわしい生活の展開」、「遊びを通しての総合的な保育」、「1人1人の発達特性に応じた指導」、「主体的に活動できるような環境構成」、「指導計画」等。

### 【評価】

<0歳児>

#### ●特に良と思う点

食事・睡眠・遊びのスペースを安定的に運営できるようになった。

遊びスペースとしての、室内と屋外とをつなぐテラス部分の環境構成について、子どもの成長（運動機能など）に合わせた変更を意識的に行えるようになった。

#### ●さらなる改善が望まれる点

月齢の移行に合わせた1歳児スペースとの連動や担当者間の連携。

<1歳児>

#### ●特に良と思う点

生活（特に食事）スペースと遊びスペースのレイアウトなど、子どもの成長に合わせた環境構成ができるようになった。

#### ●さらなる改善が望まれる点

月齢の移行に合わせた、他の年齢スペース（主に2歳）との連動や担当者間（主に0歳）の連携。

< 2 歳児 >

●特に良と思う点

他の年齢スペースに比して狭小な保育室スペースだが、連続するテラスなどを活用して活動の展開を図ったり、ランチルームの運用の際に保育者間の連携を向上させたりといった工夫に取り組んでいる。

●さらなる改善が望まれる点

子どもの活動範囲の広がりに応じた、他の年齢担当者（主に3歳）との連携。

< 3 歳児 >

●特に良と思う点

発達の時期にふさわしい遊びを誘い出す働きかけを意識した環境（特に保育室の環境）構成が多様になった。

●さらなる改善が望まれる点

遊びの状況を捉え、経験の幅を広げる必要がある場合の具体的な働きかけ。

< 4 歳児 >

●特に良と思う点

発達の時期にふさわしい遊びを誘い出す働きかけを意識した環境（特に保育室の環境）構成が多様になった。

●さらなる改善が望まれる点

遊びの状況を捉え、経験の幅を広げる必要がある場合の具体的な働きかけ。

< 5 歳児 >

●特に良と思う点

子ども達が自ら遊びを作り出し、主体的に生活を送ることができている。結果としての、作品における素材活用の豊かさや共同的な活動への意欲などに繋がっている。

●さらなる改善が望まれる点

支援が必要な園児や、より配慮を必要とする多様な園児に対して、保育者による意図的な環境への仕掛けや、保育者間での連携などを向上することで、よりインクルーシブな保育となっていくと思われる。

【総評を受けた自園評価】

コロナ禍のため行事などを縮小し外部への公開が制限されるなか、子ども達の生活は、

開園 3 年目を迎え安定してきている。オープンエンドな素材やゆとりのある時間の使い方などが園全体の温かみのある雰囲気をつくりだしていると評価頂いたと考える。今後も、保育者の学びを継続していくことで、より改善していく。

今年度の経験を活かしつつ、特にスペースの使い方や子ども達ひとりひとりについての情報共有を丁寧に行うことを重点として取り組んでいく。